

株式会社テイコク 環境部の業務内容

環境部の主な業務

環境部では、主な業務として、自然環境・生活環境などの各種調査を実施しています。

公共事業の建設、民間の建物、工場等の大規模施設の建設・誘致等の事業実施にあたり、事業地の自然環境を調査し、評価するとともに、自然との共生のための取組み、保全対策を提案しています。

発注者：国、県・市町村等の公共機関、民間（大手ショッピングセンター）

（１）動植物の調査・解析・評価／環境アセスメント



クマの生息調査



クマのヘアトラップ調査



野鳥・猛禽類調査



ライチョウ調査



魚類調査



昆虫調査



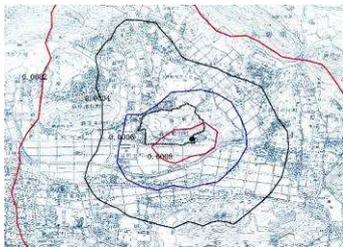
植生調査（コドラート）



植物調査



水質調査



動植物の影響予測・評価



大気予測・評価



振動騒音の調査・予測

(2) 各種保全・保護計画／魚類・ホタルなど動物から各種植物の保全・保護・育成計画

①魚・水生生物保護活動



工事前の生物保護



天然記念物ネコギギの放流

②小学校の総合学習支援（カワゲラウオッチング）



子どもたちの総合学習支援



カワゲラ

③ホタル、魚類等の動植物の保護・育成のための計画から維持管理のサポート

② 勉強会

ホタルを育てるためのスケジュール

勉強会(ホタルの生態・チームづくり)

勉強会(開催)

ホタルの生態

ホタルの飼育

③ ホタル生息施設の整備

水路の整備

水路の完成

⑥ ホタルの育成・管理

育成・管理の進捗

種別	飼育開始	飼育終了	備考
少子化ホタル	〇	〇	2024年10月
オビホタル	〇	〇	2024年10月
オビホタル	〇	〇	2024年10月
オビホタル	〇	〇	2024年10月
オビホタル	〇	〇	2024年10月
オビホタル	〇	〇	2024年10月

飼育の進捗

飼育の様子

2年経過

2年経過

2年経過

2年経過

2年経過

④景観検討

(事例) 生きものが息づくビオトープの構想を取り入れた余剰地の修景検討(長良川右岸古津)

(3)



(3) 生物多様性、地球温暖化対策に関連する業務

- ① 自治体の地球温暖化対策の対策検討
- ② 普及啓発（イベント開催、パネル作成）



(4) 環境関連海外事業

- ① ウガンダ湿地管理プロジェクトへの参加（業務終了）

【ウガンダの背景】

- ・ラムサール条約に加盟
- ・乱開発の進行および無計画な開墾
- ・ウガンダ政府は日本に技術協力を要請

【業務内容】

- ・湿地管理計画の作成
- ・持続可能な管理の推進
- ・湿地管理局の職員の能力強化



湿地破壊



湿地破壊の例（ネリカ米の栽培）

【テイコクグループ（環境関連）紹介】

一般財団法人 自然学総合研究所

【業務内容】

- ①環境コンサルティング
専門家によるアドバイス、樹木診断
- ②環境教育
環境関連図書出版、ガイドブック作成、講師派遣、
- ③薬木・薬草の利用計画
薬草資源の利活用計画
- ④オリジナル研究
環境に配慮した法面緑化、猛禽類の生態

※詳細は自然学総合研究所パンフレット参照